

南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

現総合戦略では、国の動向等を踏まえ「若い世代が安心して働けるための産業振興及び農業振興と雇用の創出」「希望に応じた結婚、出産、子育て、働き方ができる環境づくり」「定住の促進と安全で安心な地域づくり」の3つの基本目標を掲げ取組を進めてきました。

また、毎年度の取組に関して実効性を確保するため、重要業績評価指標による効果検証及び進捗管理を行ってきました。

このような取組の結果、基本目標ごとの数値目標では、7項目中3項目について戦略策定時に比べて改善が見られるものがありました。

また、本市の総人口についても自然動態、社会動態ともに減少傾向にあり、人口減少の克服に結実する成果が得られていない状況です。（平成30年 自然動態 △241人、社会動態 △90人）

第2期総合戦略の策定にあたっては、以下に示す基本目標ごとの課題に対して真正面から向き合い、「未来のあるべき姿」を関係するステークホルダーとともに共有しながら、これから何をすべきかを考えていく、未来思考（バックキャストिंग）によるアプローチが大切となります。

【現総合戦略の3つの基本目標】

基本目標1 「若い世代が安心して働けるための産業振興及び農業振興と雇用の創出」

数値目標	基準値	目標値 (R2)	実績値 (R2.3)
製造業の従業者数 (従業者4人以上の事業所)	2,990人 (H24)	2,990人	<u>3,218人</u> (H30)
新規就農者数	10人 (H23~H27)	20人 (H28~R2)	<u>31人</u> (H28~R元)
年間観光客数	101万人 (H25)	120万人	96万3千人

※下線は、実績値が目標値を上回った数値目標

【成果及び課題】

工業団地への企業誘致、本社機能移転、若者の雇用対策、耕作放棄地等の再生支援、森林資源利活用、ワイン振興、地場製品の販路拡大、地産地消の推進、地域連携DMO、心のバリアフリー推進等に取り組みました。

その結果、各施策の重要業績評価指標（KPI）について、現時点で21項目中17項目が目標値を達成しており、産業振興及び農業振興、雇用の創出が促進されました。

今後も若い世代や女性をターゲットとした、働きやすく魅力的な「しごと」の創出に引

き続き取り組む必要があります。

基本目標2 「希望に応じた結婚、出産、子育て、働き方ができる環境づくり」

数値目標	基準値	目標値 (R2)	実績値 (R2.3)
合計特殊出生率	1.44 (H25)	1.57	1.53 (H30)

【成果・課題】

若い世代の人たちが南陽市で結婚し、定住するように、多様な出会いの機会の創出、交流のスキルアップ支援、特定不妊治療費助成や妊婦健康診査など妊娠、出産にかかるサポート体制の強化、子育て世代包括支援センター整備、放課後子ども総合プランの推進など働きながら子育てしやすい環境の充実に取り組みました。

その結果、合計特殊出生率は1.53となり、目標値を下回りましたが、基準値からは0.09ポイント上昇しており、一定の効果が表れています。各施策の重要業績評価指標（KPI）について、現時点で8項目中4項目が目標値を達成しました。

今後も共働き世帯や核家族化が進み子育てニーズが高まることが予測されますので、安心して出産、子育て、働き方ができる環境を包括的に整えていく必要があります。

基本目標3 「定住の促進と安全で安心な地域づくり」

数値目標	基準値	目標値 (R2)	実績値 (R2.3)
住みやすいと感じる人の割合	60.6% (H27)	65.0%	<u>68.3%</u>
これからも住みたい人の割合	68.4% (H27)	70.0%	69.8%
将来住みたいと考える中学生の割合	49% (H26)	60%	56.8%

※下線は、実績値が目標値を上回った数値目標

【成果・課題】

子育て世代定住促進交付金、空き家相談窓口の設置、除雪体制・除雪支援体制の強化、LED防犯灯の整備補助、自主防災組織の推進、ふるさと納税、地域おこし協力隊をはじめとする各種移住支援等に取り組みました。

その結果、数値目標は3項目中1項目が達成となり、各施策の重要業績評価指標（KPI）は16項目中5項目が達成となりました。

今後も少子高齢化の進展が見込まれることから、空き家対策や除排雪体制の強化など、安全で安心な地域づくりに取り組む必要があります。